

令和5年 南砺市議会定例会

令和6年2月会議における
市長提案理由の説明要旨

令和6年2月7日

提案理由の説明

(令和6年2月会議)

はじめに

先般、1月会議を開会頂き、関係議案を議決頂いたところではありますが、このたび、緊急にご審議いただきたい事案が生じ、2月会議を開会いただきましたところ、議員各位には何かとご多忙の折にもかかわらずご出席を賜り、厚くお礼申し上げます。

1月1日に発生しました能登半島地震から、はや一ヶ月が経過しました。最も被害の大きかった石川県輪島市や珠洲市では、いまだ安否不明者がおられ、一日でも早く捜索が進展することを祈るばかりです。

富山県の発表では、2月6日現在の被災住宅の件数は、県全体で8,000件を超え、そのうち氷見市では全壊が110件と報告され、各市町村において、今後さらに被災件数が増えるものと認識しております。

本市におきましても、2月6日現在、一部損壊として、92件の罹災証明書を発行しております。改めて、被害に遭われた市民の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

今回の震災により、市内でも、市道、農地・農業用施設、林道をはじめ、多くの公共施設において被害が生じ、すでに一部で復旧作業に取り掛かっている箇所もありますが、冬の時期の被災でもあり、今後、雪解けと同時に新たな被災箇所等が出てくるものと考えております。引き続き、早期の確認、情報収集のもと、適時適切な補正予算等の措置により、全力で復旧に努めてまいりたいと考えております。

また、コロナ禍の疲弊から脱却しつつあった中での震災により、市内経済活動におきましても、多大な影響が生じております。特に観光施設

や飲食店、温泉・宿泊施設などの予約キャンセルが相次ぐなど大きな打撃を受けております。市としましては、今後の状況に鑑みつつ、市内経済の活性化につなげるべく有効な施策を検討、実施してまいりたいと考えております。

さて、本日、じょうはな座での開会式を皮切りに、令和5年度全国高等学校総合体育大会・第73回全国高等学校スキー大会が開催されます。本市におきましても、たいらスキー場・たいらクロスカントリースキー場を会場とし、平成19年の第56回大会以来の17年ぶりの市内での開催となります。2月2日より県外からの選手団も会場入りし、各競技のコース確認や熱のこもった練習が行われております。選手の皆さんは、この日のために厳しい練習を積み重ね、技術面、精神面を高めてこられたものと思います。これまで支えていただいた多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、最高の舞台でこれまでの練習の成果と自分自身の持てる力を存分に発揮していただき、すばらしい戦いを繰り広げられることを期待しております。

それでは、提出いたしました議案につきまして、提案理由をご説明申し上げます。

令和5年度補正予算

議案第4号は、令和5年度南砺市一般会計補正予算（第12号）を調製し、議会の議決を求めるものです。

事業につきましては、すべて、能登半島地震に伴う各種対策事業を補正予算として計上しております。

今回計上しました主な事業につきましてご説明いたします。

まず、被災を受けた市内の住家に対する災害見舞金として 300 万円を計上しております。また、福光地域砂子谷地内の崩落した土砂による濁った水が下流域に影響を及ぼさないようにするための対策工事費として 1,500 万円を、土地改良区が施工するサイフォン修繕工事への市補助金として 29 万円をそれぞれ計上しております。小・中学校及び体育施設、福祉施設、各地域交流センター等の公共施設の修繕経費としては、総額 7,212 万円を計上しております。

また、今回の震災により、市内の飲食店及び温泉・宿泊施設等におきまして、団体予約の相次ぐキャンセルや利用そのものが控えられるなど、施設運営上、特に経営面において大きな打撃を受けております。このことに対し、市としまして早急な市内経済活動への支援を行いたく、「飲食店応援緊急支援補助金」として 1,000 万円を、「温泉施設経営緊急支援給付金」として 340 万円を、それぞれ計上しております。

これらのことから、今回の補正予算総額は 1 億 381 万円となり、この結果、令和 5 年度一般会計予算の累計額は、361 億 1,235 万 9 千円となります。これら補正予算の財源につきましては、全額、繰越金で対応いたします。

以上、提出いたしました議案について提案理由を説明いたしましたが、慎重ご審議の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。